

No. 18

外国籍市民のための防災事業

事業分野	災害救援		協働の形態		事業協力		
実施主体	行政	企画部市民協働課・総務部防災安全課					
	協働相手	マンゴーベレン・プロジェクト、半田中学校避難所運営委員会 半田災害支援ボランティアコーディネーターの会 多文化防災ネットワーク愛知名古屋					
	(内訳)	市民	地域コミュ	活動団体	NPO法人等	事業者	教育機関
		-人	-団体	4団体	-団体	-者	-校
実施期間	令和3年度から		過去3年間 平均予算額		149,000円		
協働のゴール	外国籍市民が防災知識の習得により、日常的に防災意識を持つとともに、災害時には暮らしている地域において命を守る避難行動等がとれるよう意識の醸成を図る。 さらに、多文化の視点を取り入れた避難所運営につなげる。						
ポイント	外国籍市民が自ら企画・運営し、地域の防災知識が乏しい外国籍市民を中心に防災啓発に取り組んでいる。その中で、防災関連団体を巻き込むとともに、行政のコーディネート力を活かしながら、避難所の円滑な運営につなげている。						
協働に至る経緯と背景							
マンゴーベレン・プロジェクトとは以前から多文化共生推進の分野で連携しており、多文化防災の視点での取組の必要性について行政・活動団体とも感じていたことから、多文化推進及び防災関連を担う行政組織（市民協働課・防災安全課）も関わる形で、市民活動助成金事業として実施した。							
事業内容と行政・協働相手それぞれの事業への関与の仕方							
<ul style="list-style-type: none"> ● 協働相手 団体（マンゴーベレン・プロジェクト）が持つ外国籍市民間でのネットワークを活用した参加者の募集から事業の企画・当日進行等を担当。ポルトガル語での通訳・翻訳の実施。企画内容において、防災関連に取り組む活動団体（半田災害支援ボランティアコーディネーターの会、多文化防災ネットワーク愛知名古屋）を巻き込みながら事業を展開。 ● 防災安全課 防災に関する知識習得に必要な資料提供や防災マップを活用した講座実施。 ● 市民協働課 市民協働課が運用する外国籍市民向け Facebook を活用した事業広報の実施、防災関連に取り組む活動団体とのコーディネート。 							

協働相手からの意見・評価

事業目的である外国籍市民の防災知識の習得・防災意識の醸成は、様々なテーマで事業を展開することによって進めることができた。また、地域の日本人の参加もあったことで、防災をきっかけに、少しでも日本人と外国籍市民の交流の機会となったのはとても良かった。

さらに、避難所運営に取り組む活動団体とつながったことにより、さらなる防災意識の向上及び発展的な事業展開につながると考えられる。

受益者からの意見・評価

受益者（参加者）からは事業に参加したことで、「全く知らなかった防災用語を、ゲーム等を通じて楽しく知ることが出来てよかった。」、「地震だけでなく津波や高潮による洪水に対してどのように備えをすべきかが分かった。」などの評価があった。

協働して良かった点や成果、及び今後の課題・展望

防災用語を学ぶ講座や市外で外国人防災リーダーとして活躍する講師による講演会、実際に地域の避難訓練に参加するフィールドワークなど多岐にわたる事業内容を通じて、事業の目的である防災に必要な知識の習得や意識の醸成を図ることができた。

また、当初、日本人の参加はあまり想定していなかったが、協働関係にあったため市の多文化防災事業の参加者に当事業の情報提供等ができ、日本人の参加に繋げることができた。

今回の事業の参加者は主にブラジル国籍の方がほとんどであったため、今後実施するにあたり、ベトナムなど様々な国籍の外国籍市民も参加できるような仕組みを考えていきたい。

多様な活動団体とつながることにより、発展的な事業展開につながるとともに、徐々にではあるが、多文化の視点を持った避難所運営の取組も始まっている。この取組をモデルとし、市内全域に展開していけるものとしていきたい。

活動の様子（写真、チラシ等）



委員会総括評価・提言